

VIII. 管理運営

1. 学園組織の管理運営体制

(1) 各委員会

1) 学園関連委員会

a. 短期大学（部）学長会議

- ・ **目的** 本会議は、学校法人東海大学組織及び業務分掌規程第7条第2項に基づき設置され、事業報告及び学園基本方針にのっとり各短大の計画について審議する場となっている。
- ・ **委員構成** 学長会議は、総長（理事長）が議長を務め、副理事長、各短期大学（部）学長、学長補佐、常務理事、高等教育部長、総務部長、その他総長が必要と認める教職員をもって組織している。

b. 短期大学（部）事務室長会議

- ・ **目的** 学長会議の円滑な会議運営のため、事前調整と課題提出などの役割を担っている。
- ・ **委員構成** 議長は、学務局担当理事が務め、各短期大学（部）事務室長、及び法人本部の高等教育部長及び高等教育課長、その他学務局担当理事が必要と認める教職員をもって組織している。

c. 総合研究機構運営委員会

- ・ **目的** 『学校法人東海大学総合研究機構基本理念』に基づき、総合研究機構運営委員会を設け、研究活動を推進するために定めた事項を審議する。
- ・ **委員構成** 委員長は理事長とし、委員は常務理事、大学・短期大学（部）の学長及び委員長の指名する者とする。

d. 東海大学現代文明論研究センター運営委員会

- ・ **目的** 本委員会は、学校法人東海大学が設置する大学・短期大学（部）・初等中等教育機関で実施する「現代文明論」が、学園の教育方針に沿った学園全体の統一性、整合性を維持するための講義計画案や方法論等を協議することを目的とする。
- ・ **委員構成**
 - 委員長 東海大学副学長（教育担当）
 - 副委員長 現代文明論研究センター長
 - 委員 一貫教育センター所長、大学・短大が設置する現代文明論委員会の委員長
附属高等学校（連携校含む）の校長の推薦により選出された者
その他、委員長が必要と認めた者
 - 事務局 一貫教育課

e. 短期大学（部）入試企画委員会

- ・ **目的** 入試の基本計画に関する事項、短大（校舎）の入試の調整に関する事項、その他本委員会において必要と認める事項について審議することを目的とする。
- ・ **委員構成**
 - 委員長 橋本敏明高等教育部長（法人）
 - 委員 入試問題作成委員長 柴田正憲（短期大学部 学長）、
辻昭事務室長（短期大学部）、一野谷陽一事務室長（医療技術短期大学）、
岩重將成事務室長（福岡短期大学）、
 - 事務局 林教明（法人）

2) その他の学務管理

上記以外の学務運営に関しては、法人高等教育部を窓口にして相談し、本学の管理運営を行っている。

2. 本学内の管理運営体制

(1) 学内委員会 ※10月1日現在

1) 教授会

- ・目的 本会議は、本学の直轄機関（議決機関）として、本学の教育及び研究に関する事項、学生の学籍異動に関する事項、教務及び学生に関する事項、学長の諮問に関する事項、その他必要と認められた事項について審議及び報告することを目的とする。
- ・委員構成
 - 議長 神山高行 学長
 - 委員 専任・特任教員全員、岩重將成（事務室長）

2) 企画調整会議

- ・目的 本会議は、本学の直轄機関として、本学における教授会への審議事項及び報告事項等を協議し、並びに学校運営全てにおける諸事項の円滑な実施運営を図ることを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 神山高行 学長
 - 委員 矢原充敏 学科主任、林大仁 学科主任、岩重將成 事務室長、森田博文 事務室長補佐
- ・内容 将来構想に関する事項、予・決算に関する事項、教職員人事に関する事項、広報活動に関する事項、短大学長会議及び短大事務室長会議に関する事項、学務に関する事項、大学評価に関する事項などについて調整する中枢機関として、各委員会からの答申に基づいて審議し、教授会審議事項の最終調整機関としての役割を果たす。

3) 改組改編検討委員会

- ・目的 本委員会は、本学の直轄機関として、開学から本格的な改組を行っていない本学の現状と日本の大学事情を鑑み、学生募集の状況がより良く運営できるよう審議・検討することを目的として2014年度から発足した。
- ・委員構成
 - 委員長 真下 仁
 - 委員 八尋剛規、宮川幹平、北濱幹士、松本知子、岩重將成、森田博文、香月康則
- ・内容 まずは本学の負の要素の脱却から始めなければ、学生募集が低迷している原因を摘み取ることはできないとした上で、委員から意見を聴取し協議する体制を整えた。しかし、法人に訴えかけるほどまでに至っていないことが課題である。

4) 情報処理学科会議

- ・目的 本会議は、学科において、指導教員として把握している学生の現状報告、カリキュラムや履修・成績における問題提起・解決策など、教育運営に関わる一切の事項を検討することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 矢原充敏 学科主任
 - 委員 情報処理学科専任・特任教員
- ・内容 まず、指導教員より問題のある学生を報告、その対処方法等を検討した。また、教員間で持ち合わせている情報の共有化を推進するとともに、各委員会へ提言する内容等も検討した。

5) 国際文化学科会議

- ・目的 情報処理学科と同じ
- ・委員構成
 - 委員長 林 大仁 学科主任
 - 委員 国際文化学科専任・特任教員
- ・内容 情報処理学科と同じ

6) 観光文化研究所会議

- ・ 目 的 本研究は、本学の建学の精神にのっとり、観光による文化交流・異文化理解を学際的に幅広く捉え、観光文化の基本的命題とその応用的課題並びにこれに関連する諸問題を総合的に研究し、観光文化の発展に寄与貢献することを目的とする。
- ・ 委員構成
委員長 神山高行
委 員 林 大仁、藤本幸男、北濱幹士、柏木 翔、福田伸也
- ・ 内 容 宗像市郷土文化交流施設及び地域学芸員養成講座、筑前七浦の会、宗像市観光協会、宗像市商工会への協力を進め、地域連携部門として教育G Pで培った成果を本学の教育課程に活かした。また、宗像市と「観光経済効果調査」の業務委託契約を締結し、宗像市観光行政による経済効果を測るため、市内観光施設においてアンケートを実施して、結果を分析することにより、現状の把握と今後の施策に繋げる調査を行った。
所報については、3月発刊に向けて原稿の取りまとめ、編集作業を実施した。

7) 図書館会議

- ・ 目 的 本会議は、必要な図書館資料を収集・管理し、教職員・学生の利用に供し、教育及び学術研究に資することを目的とする。
- ・ 委員構成
委員長 宮川幹平
委 員 赤井ひさ子、北濱幹士、チョウ アンナ、山本真由美
- ・ 内 容 図書館運営体制として、各学科における選書及びその取りまとめ、教育システムとしての図書館の役割についての検討、図書館主催イベントの企画・運営、その他図書館運営の補助業務を図書館規程、図書館資料収集・管理規程、図書館利用規程に基づいて実施した。

8) 情報システム室会議

- ・ 目 的 本会議は、本学情報環境全般の基本システムの維持管理及び運用支援に関する事項、教材のW e b化推進のための開発環境の整備及び開発支援、図書・e-Learning教材など学習資源の蓄積・管理・運用に関する事項に資することを目的とする。
- ・ 委員構成
委員長 八尋剛規
委 員 矢原充敏、ウェア ジーン リー、宮川幹平、岩重將成
- ・ 内 容 今年度、以下の事項を中心に協議した。
(1) 福岡東海キャンパス共通の教育支援システムとして、高速L A N、教育系クライアント、W e b履修個別教育支援、情報教育、自学自習教育、マルチメディア教育システムを統合して設定した。
(2) 高校訪問等で使用するI C T関係の広報資料について、内容・デザインの確認を行い、判読性を高める工夫を加えた。

9) 教務委員会

- ・ 目 的 本委員会は、本学の教務に関する事項を審議することを目的とする。特に授業及び試験の実施方法、授業時間割の編成、履修、単位認定について対処する。
- ・ 委員構成
委員長 矢原充敏
委 員 宮川幹平、赤井ひさ子、岡本武志、柏木 翔、森田博文、西真奈美
- ・ 内 容 今年度は、オリエンテーションウィーク内容（秋ガイダンス含む）、入学前既修得単位の認定、特別開講科目、交換留学時単位認定、時間割調整、履修登録後の登録単位数、学外授業の取り扱い、成績処理、ゼミ振り分け、定期試験（追試験含む）、学年暦、カリキュラム（教員の担当コマ数含む）、資格取得単位認定、随意科目のG P A、欠席学生への対応、指導教員体制などについて協議した。
特にカリキュラムについて、2013年度から2014年度は変更なしで運用していくことが

協議された。

10) 学生委員会

- ・ 目 的 本委員会は、本学学生が健全で充実した学生生活を送れるよう、これに関する事項を審議することを目的とする。また、教育システムの変化に適応した規則等の変更と整理を行ない、教育現場に齟齬を起こさないように対処することも目的の一つとしている。
- ・ 委員構成
委員長 北濱幹士
委 員 伊津信之介、松本知子、柏木 翔、香月康則、古川智絵美、福田伸也
- ・ 内 容 奨学金、学生行事、保健管理が協議の大きな核となった。学生行事（学友会活動）、何でも相談、車両通学、喫煙マナー、学生状況については常に審議し、情報の共有と教職員の学生行事への関わりを推進した。奨学金については、多種多様な種類についての選考に時間を要し、留学生奨学金の選考及び採用後の指導など年間を通じた業務となっている。特に日本学生支援機構奨学金については、返還誓約書の提出、月額変更、人的保障者の変更、除籍・退学者対応、適格認定について、対象学生の状況により、機構との連絡も多岐に亘っている。また、卒業後の未返還者への対応など今後の課題も多い。また、新たに加わった、入学前資格チャレンジ奨学金や優秀学生奨学金にも対応した。

11) 国際交流委員会

- ・ 目 的 本委員会は、本学における国際交流に関する諸事項の円滑かつ有効な実施運営を計ることを目的とする。
- ・ 委員構成
委員長 神山高行
委 員 林 大仁、藤本幸男、チョウ アンナ、ウェア ジーン リー、松本知子、森田博文、西真奈美
- ・ 内 容 次の内容を協議することとなっている。
 - (1) 学術交流協定の新規締結・更新・廃止他の計画に関する事項
 - (2) 学生・研究者・教職員の海外派遣に関する事項
 - (3) 留学生・外国人研究者の受入れ・支援に関する事項
 - (4) その他本委員会において必要と認めた事項今年度は、特に短期留学4件（韓国短期留学A・B、ハワイ短期留学、中国短期留学）の計画立案、実施、報告、交換留学の派遣と受け入れについて協議した。

12) 現代文明論委員会

- ・ 目 的 本委員会は、本学における現代文明論の実施運営に関する事項を審議することを目的とする。
- ・ 委員構成
委員長 宮川幹平
委 員 伊津信之介、真下 仁、松本知子、森田博文
- ・ 内 容 「現代文明論」は、東海大学の建学の精神及び教育の理念の下に展開される全学共通の必修科目である。本学における「現代文明論Ⅰ」及び「現代文明論Ⅱ」は、こうした創立者の思想や教育理念を継承し、その生き方に学びながら、東海大学が建学の精神の一つとして掲げている「若き日に汝の思想を培え」を学生自らが各講義を通じて理解し具現化することを目標に展開するものである。
2014年度は、「学生が現代文明の今を認識するとともに、現代文明とその諸問題について、自らの問題として考え、解決しようとする意識を養うこと」を目標とした。方向性としては、東海大学の建学の精神とスケールメリットを活かした幅広い分野に関する大教室での講義を展開した。特に、3短大及び九州キャンパスを中心とした東海大学学園内各校舎の教員や東海大学卒業生等を広く講師として招聘し、学生にとって学びの刺激となる授業構成を志向した。また、これらの講義によって受けた刺激をもとに、主体的に調べ、自らの考えを編み出し、それを表現するという一連のプロセスを、毎回のレポート活動のほ

か、定期的に設定したディスカッションにおいて段階的かつ実践的に学習させた。

13) キャリア委員会

- ・ 目 的 本委員会は、本学学生の就職及び進路指導に関する事項を審議することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 亀田俊隆
 - 委 員 矢原充敏、宮川幹平、藤本幸男、北濱幹士、岩重將成、山本真由美
- ・ 内 容 今年度は、進路決定の質的向上と就職決定率80%（2013年度）以上の達成を掲げ、学生支援室、ゼミ、学生との三位一体の相互支援・連携体制を整え、学生カルテによる情報共有を行いながら指導した。主に次の内容を協議した。
 - (1) 進路状況の動向調査
 - (2) 両学科共通科目の「1年次キャリアプランニング」、補助科目の「キャリア研究A・B」実施計画及び次年度以降の検討
 - (3) 企業実習の企画立案
 - (4) 学園内推薦編入学に関する推薦候補者の指導
 - (5) 進路指導体制の構築に関する立案
 - (6) その他、進路に関するガイダンス・進路懇談会等の企画運営及び調査研究キャリア教育とは、自立して社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するための力を育成し、この視点に立って日々の教育活動を展開することである。進路状況の動向をより深く調査することに加え、学生の早期の活動を促進するための施策が課題となっている。

14) 広報委員会

- ・ 目 的 本委員会は、本学の活性化に向けてハード面とソフト面の充実を図り、戦略的に広報活動を行うことを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 林 大仁
 - 委 員 矢原充敏、八尋剛規、佐竹則昭、亀田俊隆、岡本武志、岩重將成、香月康則
- ・ 内 容 高校訪問、大学入試説明会・進学相談会、資料請求者への対応、付属高校との連携強化、メインパンフレット、オープンキャンパス・学校見学会、ホームページ・Facebook、ニュースレター等について、協議した。毎年、一人でも多くの入学生を獲得するための施策を協議しているが、結果に反映していないことが課題となっている。

15) FD・SD委員会

- ・ 目 的 本委員会は本学における教職員の教育内容及び方法の改善を図るための組織的な研修・研究の実施及び活動支援を目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 八尋剛規
 - 委 員 亀田俊隆、北濱幹士、赤井ひさ子、岩重將成
- ・ 内 容 2013年度に主に教員主体であった相互参観授業、ICTを利用した授業評価、FD研究会の開催という基本活動方針を見直し、職員も含めた総合的プロジェクトとして研修会を開催し、東海大学が主催する研修会へも積極的に参加した。

16) 入試企画委員会

- ・ 目 的 本委員会は、入試選抜要項を定め、東海大学短期大学（部）入試企画委員会の議を経て、総長の決裁を得てこれを実施することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 神山高行
 - 委 員 矢原充敏、林 大仁、岩重將成、香月康則
- ・ 内 容 次の内容を協議することとなっている。

- (1) 入試の基本計画及び運営に関すること
- (2) 入試に関する各種資料の収集・調査分析に関すること
- (3) 入試に関する印刷出版物等の企画・立案に関すること
- (4) その他、本委員会において必要と認めた事項

17) 大学評価委員会

- ・ 目的 本委員会は、学長の直轄機関として、本学における教育と研究及び組織と管理運営の質的向上を図るため、必要な事項の審議と点検及び評価活動を行い、学長に答申することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 真下 仁
 - 委員 八尋剛規、赤井ひさ子、岡本武志、岩重將成
- ・ 内容 教育研究年報の発刊、授業評価アンケートの実施検証、授業の改善に向けた取り組み、大学評価アンケートの実施検証の4つの柱を中心に協議された。
 - 1) 教育研究年報
 - 2月下旬の発刊を目標として執筆項目及び担当者の見直しを行い、提出された原稿を元に編集した。執筆担当者からの原稿提出が遅れることが多いのが今後の課題である。
 - 2) 授業評価アンケート
 - 2013年度実施のアンケート結果を分析し、アンケート項目や実施方法について協議した。2012年度よりプロジェクト研究がカリキュラムに加わって3年目を迎えた。また、平行して実施しているリアルタイム授業評価との評価の違いがあるかどうか等、比較・検証することで、授業評価をより効果的に行う方法を検討した。
 - 3) 授業の改善に向けた取り組み（教育の質の向上に向けての活動）
 - 授業の改善の本来の趣旨は、教育力の向上にあるので、大学評価委員会もなお一層FD・SD委員会と連携を図りながら、授業参観等を支援し、効果的なものになりたい。
 - 4) 大学評価アンケート
 - 例年と比較し全体的にポイントが下がっていることが懸念される。特に授業内容の理解度や授業への準備についてはポイントが低い。今後は授業へ取り組む姿勢について指導体制を整えることが必要である。

18) 危機対策委員会

- ・ 目的 本委員会は、学校法人東海大学危機管理委員会と協力して、事件・事故を未然に防ぐよう教職員へ危機管理に関する啓発を行い、また防止策を検討し実施することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 神山高行
 - 委員 岩重將成、必要に応じて教職員を選出
- ・ 内容 本学に関わるすべての事項に関して、事故の未然防止や活動の啓蒙について話し合った。特にセクハラやアカハラは社会的にも問題になっている背景があることから、教授会を通じて誤解されない言動についても周知徹底を図った。

19) 省エネルギー推進委員会

- ・ 目的 本委員会は、本学を維持管理していく上で消費する年間のエネルギー（電気・水道・ガス・燃料）量、特に電気について、東日本大震災後も節電が日本中で叫ばれている。本学もエネルギーの節減努力をし、経費減額と教職員・学生への啓蒙を図ることを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 八尋剛規
 - 委員 岩重將成、必要に応じて教職員を選出
- ・ 内容 エネルギーで本学が注意すべきは電気料金である。空調機器を吸収式からチラーに変更したためであるが、電気料金は基本料金について過去12ヶ月の最大需用電力で請求されるため、デマンドの管理が課題となることを踏まえ、2014年度に九州電力からPPS業者へ需給会社を変更した。基本料金の単価は安くなったので、今後は使用量を抑えるための

施策を打ち出すことが課題である。

20) 人権啓発委員会

- ・ 目 的 本委員会は、本学における基本的人権に関する意識の高揚を計るとともに、学生及び教職員が健全な社会の構築に寄与することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 神山高行
 - 委 員 岩重將成、必要に応じて教職員を選出
- ・ 内 容 人権と言っても広義であり、女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、部落問題、アイヌ人、在日外国人、H I V感染者、ハンセン病患者、刑期を終えて出所した人、犯罪被害者、セクシャル・マイノリティ、インターネットによる人権侵害、国際的な人権教育、セクハラ・パワハラ・アカハラなどさまざまである。
県内や市内で開催された人権研修会に参加し、人権に関する意識の高揚を図ることや学内への啓蒙を図った。

21) ハラスメント防止人権委員会

- ・ 目 的 本委員会は、本学におけるハラスメント防止と被害者を救済することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 神山高行
 - 委 員 岩重將成、必要に応じて教職員を選出
- ・ 内 容 修学上又は就労上の関係を利用してなされる次の行為がないか審議した。
 - (1) セクシュアル・ハラスメント
 - (2) アカデミック・ハラスメント
 - (3) パワー・ハラスメント
 - (4) その他のハラスメント

22) ハラスメント調査委員会

- ・ 目 的 本委員会は、「ハラスメント防止人権委員会」規程に基づき、ハラスメント相談窓口の相談員及びハラスメント対策コーディネーターと連携して行う当事者並びに関係者からの事情聴取及びその他関係事実の調査に関する事項、ハラスメント防止人権委員会への調査報告に関する事項を取り扱うことを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 矢原充敏
 - 委 員 岩重將成、必要に応じて教職員を選出（委員長が指名する教職員とし、委員には男女双方を含まなければならない。ただし、調査対象とする事案の当事者と同一部署等の一定の関係にある者を除く。）
- ・ 内 容 ハラスメント防止人権委員会に掲げられた内容を調査することとしている。

23) 安全衛生委員会

- ・ 目 的 本委員会は、関係法令及び学校法人東海大学安全衛生規程に基づき、東海大学福岡短期大学教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 宮川幹平
 - 委 員 保健管理医、岩重將成、古川智絵美、必要に応じて教職員を選出
- ・ 内 容 教職員の安全及び健康の確保については、常に企画調整会議や健康推進室を中心に周知徹底されている。小規模組織のため、管理運営上における意思統一や指示命令系統は整理されている。しかし、今後予測される問題への調査や防止策については、積極的な展開ができず、学園からの指示や啓蒙に頼っていることから、委員会が自主的に活動できる体制にすることが課題となっている。

24) 研究活動の不正防止対策委員会

- ・ 目 的 本委員会は、研究活動に係わる不正防止と研究費及び競争的資金等の運営・管理を適正に行うことを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 神山高行
 - 委 員 岩重將成、必要に応じて教職員を選出
- ・ 内 容 学内研究費及び学校法人東海大学が外部から受入れる研究費について、不正を未然に防ぐための自助努力をするよう、教授会等で提議した。
科学研究費等、競争的資金について、研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく学内での体制整備を求められており、研究者への研究倫理の意識付けのための説明会や誓約書の提出など次年度に向けて徹底させることが課題である。

25) 研究活動の不正防止調査委員会

- ・ 目 的 本委員会は、「東海大学福岡短期大学研究活動の不正防止対策委員会」規程第4条第1項第3号に基づき、次の事項を取り扱うことを目的とする。
 - 1) 「東海大学福岡短期大学研究活動の不正告発相談窓口」の担当教職員及び研究費を取り扱う関係者からの事情聴取並びにその他関係事実の調査に関する事項
 - 2) 研究活動の不正該当部署への内部監査の実施に関する事項
 - 3) 「東海大学福岡短期大学研究活動の不正防止対策委員会」への調査結果報告に関する事項
- ・ 委員構成
 - 委員長 真下 仁
 - 委 員 岩重將成、必要に応じて教職員を選出
- ・ 内 容 研究活動の不正防止対策委員会に掲げられた内容を調査することとしている。

26) 「人を対象とする研究」に関する倫理委員会

- ・ 目 的 本委員会は、人を対象とする研究が、指針に遵うものであるか否かを提出された研究計画書及び関連書類に基づいて審査することを目的とする。
- ・ 委員構成
 - 委員長 林 大仁
 - 委 員 学外有識者、岩重將成、必要に応じて教職員を選出
- ・ 内 容 次の事項を審査し、学長に答申することとしている。
 - (1) 人を対象とする研究の倫理に関する基本的事項に関すること
 - (2) 人を対象とする研究計画と指針との適合性を審査すること
 - (3) その他、必要と認められる事項昨今は、特に外部へのアンケート調査を行うことが多く、調査結果を研究発表に使用するためには、本委員会承認が必要であるので、教職員に周知徹底する必要がある。
2014年度は4件の申請があり、承認されている。

(2) キャンパス間委員会

1) 福岡地区教育機関連絡協議会

- ・ 目 的 3つの教育機関が互いに協力していくことにより、相乗効果として受験生の獲得や地域に根ざした学園としてのイメージアップを図ることを主たる目的として2012年12月に発足した。具体的な目的は次の通り。
 - (1) 福岡短期大学の改革を推進していくために、福岡地区の教育機関の連携と活性化に向けた計画を立案する。
 - (2) 福岡地区の教育機関の交流及び将来計画を含め、各教育現場と十分な話し合いをする場とする。
 - (3) 幼・高・短連携の基盤を固め、相互の募集活動に繋げることとする。
- ・ 委員構成

協議会構成メンバー

法人：橋本敏明 常務理事（高等教育部長）、杉 一郎 常務理事（初等中等教育部長）
 短大：神山高行（学長）、矢原充敏（情報処理学科主任）、林 大仁（国際文化学科主任）
 真下 仁（教授）、岩重將成（事務室長）、森田博文（事務室長補佐）、
 香月康則（事務室係長）

高校：武富正治（校長）、津山憲司（校長代理）、平 清孝（副校長）、竹田清和（教頭）、
 辛島久樹（事務長：自幼事務長兼務）

自幼：中村武徳（園長）、中村純子（教頭代理）

- ・内 容 年 4 回の協議会が開催され、「キャンパス広報プロジェクト」、「施設共同利用プロジェクト」、「交流イベントプロジェクト」、「教育連携プロジェクト」の4つのプロジェクトに新たに「募集戦略プロジェクト」を含めた推進チームが、それぞれが掲げたテーマに沿って企画を推進していった。

また、4月と12月の協議会終了後には交流会が開かれ、校舎の枠を越えて教職員間の懇親を深めた。

3. 事務組織

(1) 職員数

2014年10月1日現在

区 分	事務職員			技術職員			臨時職員			合 計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
事務室	4	4	8	0	0	0	0	2	2	4	6	10
情報システム室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
図書館	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1
健康推進室	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	2

※健康推進室に兼務者1名あり

(2) 職員名簿 (臨時職員を除く)

所属	氏名	役職	身分	法人採用 年月日	福岡短期 大学発令 年月日	現職発令 年月日	備考
事務室	岩重 將成	室長	副参事	1979.4.1	2012.4.1	2012.4.1	
	森田 博文	室長補佐	主事	1987.4.1	2003.4.1	2011.4.1	
	香月 康則	係長	主事	1988.4.1	2001.4.1	2010.4.1	
	山本 真由美	係長	副主事	1975.4.1	1996.4.1	2008.4.1	
	芳賀 里美		副主事	1981.4.1	2005.4.1	2010.4.1	
	胡子 直子		主査	1993.4.1	2011.4.1	2011.4.1	
	西 真奈美		職員二級	2014.4.1	2014.4.1	2014.4.1	
	福田 伸也		特任職員	2011.4.1	2011.4.1	2011.4.1	
情報システム室	八尋 剛規	室長	教授	1992.4.1	1992.4.1	2014.4.1	
図書館	宮川 幹平	館長	准教授	2003.5.1	2003.4.1	2012.4.1	
健康推進室	岩重 將成	室長	副参事	1979.4.1	2012.4.1	2012.4.1	兼務
	古川 智絵美		中級保健技術員	1999.4.1	1999.4.1	2009.4.1	

(3) 教職員の研修等

N(▼)	期間(▼)	研修会名(▼)	開催場所(▼)	出席者名(▼)
1	4/3	宗像市スポーツ推進審議会	宗像市役所北館2階 202会議室	北濱 幹士
2	5/14	宗像市スポーツ推進審議会	宗像市役所本館3階 304会議室	北濱 幹士
3	6/5	大学ポートレートに関する学校法人向け説明会(実務編)	福岡ガーデンパレス	香月 康則、西 真奈美
4	6/26	宗像市スポーツ推進審議会	宗像市役所北館2階 202会議室	北濱 幹士
5	6/28-7/6	Asia Pacific Tourism Association 20th Annual Conference	Rex Hotel	柏木 翔
6	7/2	平成26年度私立大学等経常費補助金説明会	福岡工業大学 FITホール	芳賀 里美
7	7/2-3	平成26年度私立大学等経常費補助金説明会	福岡工業大学 FITホール	西 真奈美
8	7/3	平成26年度私立大学等経常費補助金説明会	福岡工業大学 FITホール	香月 康則、胡子 直子
9	7/6	ワークショップ「明日からの歯科医学教育を考える集い」	九州歯科大学 コンピュータ演習室	宮川 幹平
10	7/14-15	平成26年度第三者評価 評価員研修会	アルカディア市ヶ谷(私学会館)	真下 仁
11	7/15-18	新任教職員研修	東海大学瀧壺高原研修センター	西 真奈美
12	8/20	第44回九州地区大学保健管理研究協議会	九州工業大学 戸畑キャンパス(百周年中村記念館)	古川 智絵美
13	8/21-22	学校法人東海大学経理研修会	代々木校舎	岩重 將成、芳賀 里美 森田 博文
14	8/22	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会「夏期研修会」	都久志会館(福岡ガーデンパレス隣)	山本 真由美
15	8/23	第5回スポーツビジョン講習会	東京ビッグサイト 610会議室	岡本 武志
16	8/25-27	第9回子ども身体運動発達指導士養成(資格認定)講習会	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階402研修室及びスポーツ棟第3・4体育室	岡本 武志
17	8/28	第40回福岡県短期大学教務担当者連絡会	福岡工業大学 FITホール	森田 博文、西 真奈美
18	9/4	メンタルヘルス対策セミナー	都久志会館	古川 智絵美
19	9/21	JBA公認E-1級コーチ養成講習会	福岡市立田村小学校体育館	北濱 幹士
20	9/27	発達支援センター 市民講演会	市民活動交流館(メイトム宗像)	古川 智絵美
21	9/28	第123回スクエアステップ指導員資格認定講習会への参加	長崎県川棚町中央公民館	岡本 武志
22	10/7	メンタルヘルスセミナー『働く人の睡眠について』	サンレイクかすや	古川 智絵美
23	10/30	宗像市スポーツ推進審議会	宗像市役所本館2階 204会議室	北濱 幹士
24	11/5	犯罪被害者支援の会	宗像警察署	岩重 將成
25	11/15-16	第5回スポーツクラブインストラクター養成(資格認定)講習会	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟5階 501研修室	北濱 幹士
26	11/17	第三者評価分科会	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	真下 仁
27	11/21	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会「情報交換会」	天神テルラビル5F VIPルーム	山本 真由美
28	12/12	福岡教育大学外国人留学生・宗像地域国際交流団体情報交換会	福岡教育大学 事務局第1会議室及び学生食堂セレーノ	北濱 幹士
29	12/19	第31回介護予防運動スペシャリスト養成(資格認定)講習会	国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟5階 501研修室	岡本 武志
30	12/24	FD/SDセミナー	福岡教育大学 アカデミックホール	宮川 幹平
31	1/29	地元企業と大学との情報交換会及びセミナー	リーガロイヤルホテル小倉	亀田 俊隆
32	1/29	地元企業情報交換会	リーガロイヤルホテル小倉	藤本 幸男
33	1/31-2/1	インディアカ公認B級審判員研修会	しあわせの村	北濱 幹士
34	2/13	救急法救急員養成講習会	日本赤十字社福岡県支部	北濱 幹士
35	2/17	大学等と地元企業との就職情報交換会	福岡商工会議所	亀田 俊隆
36	3/7	シンポジウム『福岡県自殺未遂者支援事業の成果・課題及び今後の展望』	ナースプラザ福岡	古川 智絵美
37	3/14	講座:テーマ『知っておきたい卵子のこと』	メイトム宗像 203会議室	古川 智絵美

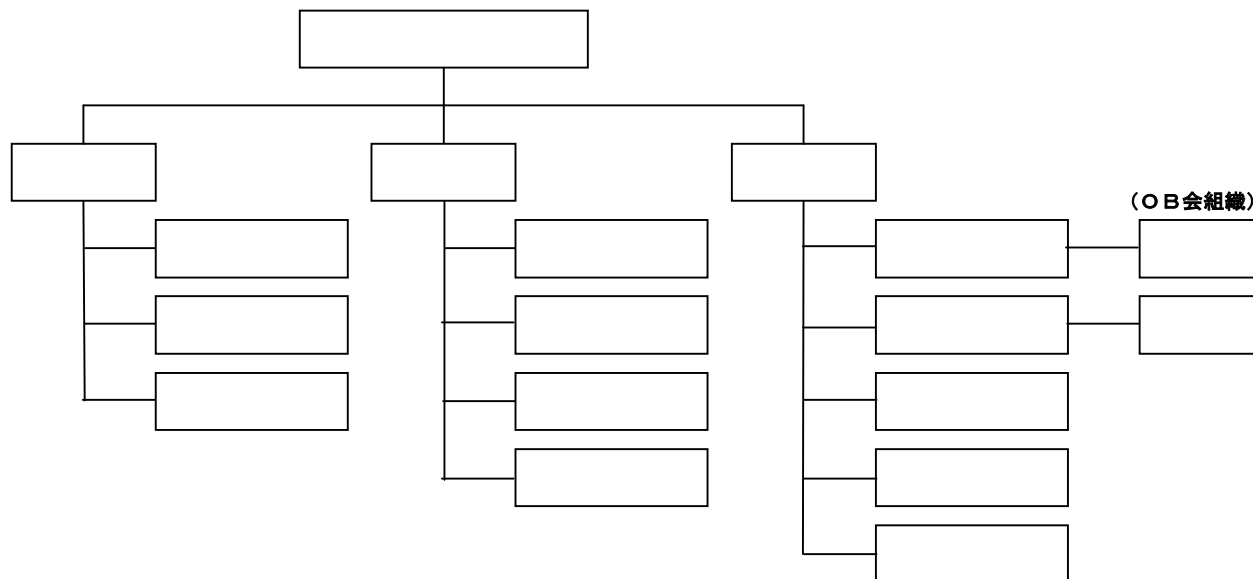
4. 校友会組織

(1) 福岡県校友会

校友会とは、学園各教育機関（本学及び東海大学、東海大学短期大学部（静岡）、東海大学医療短期大学、附属諸学校）の後援会（PTA含む）、同窓会、及び後援会のOBで組織する望の会や白鷗会等の会員と教職員で構成し、会員相互の友好と親睦を深め、東海大学学園の発展並びに社会的活動の推進に寄与することを目的としている。

福岡県校友会は、以下の組織の役員と会員をもって構成し、本学からは、同窓会、後援会、望の会が所属している。なお、代表幹事には木田文武氏、事務局長は附属第五高校事務長（附属自由ヶ丘幼稚園事務長兼務）の辛島久樹氏が務めている。

福岡県校友会組織図



(2) 同窓会

卒業生をもって組織し、会員相互の親睦を図り、会の運営を通じて社会に貢献し、併せて母校の発展に寄与することを目的としている。

活動の中心は、総会であり隔年で開催している。例年、入学式、建学記念式典、学位授与式に来賓として参列し、校友会のイベントにも積極的に参加している。特に宗像ユリックス 24 時間 EKIDEN には、福岡県校友会の一員としてバックアップはもとより、役員自らもランナーとして参加した。

2014 年度はホームカミングデーを開催し、第一部の総会で 2013 年度決算、2014 年度予算案の承認、会則改訂を承認した。第二部の懇親会では会話が弾む環境を整え、会員同士の絆を深めた。抽選会も参加者に漏れなく景品を渡すことができた。建学祭においては、模擬店（やきとり 柘君）を出店し、多くの同窓生が来店した。今後も様々なイベントに同窓生が参加できるような組織にしていかなければならない。

卒業記念パーティーでは、会長が卒業生に対して祝辞を述べた。例年、新会員の中から新役員を選出しているが、恒常的に役員会に出席できる卒業生を選出することが今後の課題となっている。

今年度も同窓会会報「何しよう？」第 16 号を発行（毎年 1 回）し、会員相互交流の一助を担っている。第 8 号より新聞形式で学園全体の情報も織り交ぜながらの発刊となっている。

・ 2014 年度役員

- 会 長 久 峯 直哉（1991 年度情報処理学科卒：1 期生）
- 副会長 林 田 勝博（1994 年度情報処理学科卒：4 期生）
- 副会長 岩 坂 良子（1998 年度情報処理学科卒：8 期生）
- 総務・会計 細川潤一郎（2002 年度国際文化学科卒：12 期生）
- 監 査 有 馬 千明（2009 年度国際文化学科卒：19 期生）
- 監 査 高 田 香苗（2009 年度国際文化学科卒：19 期生）

幹 事 枘寄 博之 (1991 年度情報処理学科卒 : 1 期生)
 摩嶋 昌代 (1998 年度情報処理学科卒 : 8 期生)
 中川智恵子 (2000 年度情報処理学科卒 : 10 期生)
 塘 将典 (2002 年度情報処理学科卒 : 12 期生)
 山本 健一 (2003 年度国際文化学科卒 : 13 期生)
 清水真梨子 (2004 年度国際文化学科卒 : 14 期生)
 大庭信太郎 (2006 年度情報処理学科卒 : 16 期生)
 山下友紀恵 (2010 年度国際文化学科卒 : 20 期生)
 久富 漢子 (2011 年度国際文化学科卒 : 21 期生)
 荒渡 尚人 (2013 年度国際文化学科卒 : 23 期生)
 西 真奈美 (2013 年度国際文化学科卒 : 23 期生)
 重 明佳里 (2014 年度国際文化学科卒 : 24 期生)
 事務局長 森田 博文 (福岡短期大学事務室)

(3) 後援会

本会は本学在学生の保護者をもって組織し、本学と後援会との密接な連絡により、相互の親睦を深め、本学の発展と向上を計ることを目的として、2 か月に1 回のペースで役員会を行い、9 月初旬に後援会総会及び保護者面談会を開催した。また、九州・山口地区には教職員を派遣し、独自に保護者面談会を開催した。3 月には進路懇談会を開催した。

その他、本学の入学式、学位授与式、建学記念式典等主要行事に役員が出席し会長が祝辞を述べ、リーダーズ研修会では参加学生への差し入れなどエールを送った。

なお、昨年に引き続き、建学祭へは資金援助だけではなく、学生行事の理解を深め協力すること及び保護者の参加促進を目的とし、模擬店(喫茶夢僚)の出店を行った。また、宗像ユリックス 24 時間 EKIDEN には、福岡県校友会の一員としてバックアップはもとより、役員自らもランナーとして参加した。

今後共こうした活動を通じて保護者の大学理解を促進することも大切な活動との認識を深めることができた。

・2014 年度役員

顧問	池田 弘	(望の会会長)
顧問	山下 晴路	(望の会事務局長)
顧問	大塚 誠治	(情報処理学科・卒業生保護者)
会長	今村 勝彦	(国際文化学科・2 年生保護者)
副会長	吉田富美代	(情報処理学科・2 年生保護者)
副会長	上崎由利子	(国際文化学科・1 年生保護者)
副会長	長岡喜代美	(国際文化学科・1 年生保護者)
事務局長	安部 仁恵	(国際文化学科・1 年生保護者)
会計	江原 和代	(国際文化学科・2 年生保護者)
会計	伊藤 靖子	(国際文化学科・1 年生保護者)
監査	山田 順子	(国際文化学科・1 年生保護者)
監査	小川 久美	(国際文化学科・1 年生保護者)

(4) 望の会

本学卒業生の保護者を会員として相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的としている。2014 年度は 11 月下旬に総会を開催した。

なお、望の会と後援会は表裏一体の関係であるとの認識を確認し、後援会活動にできる限り参加する方向性が示され、2004 年度より後援会役員会に顧問として参加することとなり、会長が総会の議長を務めている。

また、校友会などを通じて他団体との懇親を深めることも行った。更に 2006 年 2 月からは社会奉仕の一環として赤間駅周辺清掃活動を実施しており、5 月には通算 100 回目を迎え、記念セレモニーが J R 赤間駅前で開催された。宗像ユリックス 24 時間 EKIDEN には、福岡県校友会の一員としてバックアップはもとより、役員自らもランナーとして参加した。

・2014年度役員（任期・2ヶ年）

顧問	堤田 賢一（1991年度卒業生保護者）、安武 信之（1992年度卒業生保護者）
相談役	片山 忠和（1991年度、1994年度卒業生保護者）、
会長	池田 弘（1995年度卒業生保護者）
副会長	大淵 茂樹（1993年度卒業生保護者）、土師 紀生（1994年度卒業生保護者） 村上 英子（2002年度卒業生保護者）
事務局長	山下 晴路（2006年度卒業生保護者）
事務局次長	田中賀由里（2008年度卒業生保護者）
会計	阿部 千秋（2009年度卒業生保護者）
監査	栗木妥会子（2011年度卒業生保護者）

5. 諸規程

規程番号	規程名称	管理部署	制定日	改訂日
▶学則/学則・園則				
130	東海大学福岡短期大学学則	事務室	1990/04/01	2014/04/01
▶組織及び業務分掌/学(校・園)長会議・教授会等				
850	東海大学福岡短期大学教授会規程	事務室	1990/04/01	2007/04/01
▶組織及び業務分掌/大学・短大付置研究所				
5150	東海大学福岡短期大学観光文化研究所規程	事務室	1996/04/01	2007/04/01
▶総務/総務・契約・調達				
953	東海大学福岡短期大学安全衛生規程	事務室	2009/04/01	
▶総務/人権				
1120	東海大学福岡短期大学人権啓発委員会規程	事務室	1996/04/01	2007/04/01
1817	東海大学福岡短期大学個人情報保護委員会規程	事務室	2005/04/01	
▶人事/人事(任用・資格・研修・出向)				
1530	東海大学福岡短期大学教員資格審査委員会規程	事務室	1997/04/01	
1532	東海大学福岡短期大学教員資格審査小委員会規程	事務室	2003/09/01	2013/04/01
▶人事/学長・校長等選任				
1260	東海大学福岡短期大学主任教授選任規程	事務室	1991/04/01	2007/04/01
▶学務/教務・委員会(教務・運営・教育等)				
3121	東海大学福岡短期大学企画調整会議規程	事務室	2009/04/01	2013/04/01
3122	東海大学福岡短期大学教学委員会規程	事務室	2002/04/01	2009/04/01
3124	東海大学福岡短期大学FD委員会規程	事務室	2009/04/01	
3145	東海大学福岡短期大学教員授業担当規程運用内規	事務室	2003/04/01	
▶学務/学修・教育補助				
3130	東海大学福岡短期大学学修に関する規則	事務室	1990/04/01	2008/04/01
▶学務/一貫教育・現代文明論				
3150	東海大学福岡短期大学現代文明論委員会規程	事務室	1993/04/01	2007/04/01
▶学務/学位				
3135	東海大学福岡短期大学学位規程	事務室	2006/03/01	
▶学務/表彰・基金・奨学金				

4230	東海大学福岡短期大学奨学金規程	事務室	1995/10/01	2014/04/01
4251	東海大学福岡短期大学遠隔地奨学金に関する細則	事務室	1998/04/01	2014/04/01
4255	東海大学福岡短期大学付属高校特別奨励奨学金に関する細則	事務室	2001/09/01	2013/04/01
4244	東海大学福岡短期大学沖縄県竹富町との交流協定奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01	
4246	東海大学福岡短期大学学習奨励奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01	2014/04/01
4242	東海大学福岡短期大学資格取得奨励奨学金に関する細則	事務室	2008/04/01	2012/04/01
4236	東海大学福岡短期大学入学前資格チャレンジ奨学金に関する細則	事務室	2014/04/01	
4238	東海大学福岡短期大学優秀学生奨学金に関する細則	事務室	2014/04/01	
▶学務/試験・再履修				
3140	東海大学福岡短期大学試験に関する細則	事務室	1990/04/01	2009/04/01
▶学務/科目履修生・研究生・聴講生・受託生等				
3670	東海大学福岡短期大学科目等履修生に関する規程	事務室	1994/04/01	2001/04/01
3680	東海大学福岡短期大学研究生に関する規程	事務室	1990/04/01	2002/04/01
▶学務/地域教養講座・公開セミナー等				
3163	東海大学福岡短期大学エクステンションセンター福岡講座運営委員会規程	事務室	2002/04/01	2007/04/01
▶学務/大学評価				
4900	東海大学福岡短期大学大学評価委員会規程	事務室	1992/11/01	2007/04/01
▶学務/入学試験				
4920	東海大学福岡短期大学入学試験運営組織及び業務分掌規程	事務室	1997/04/01	2013/04/01
4810	東海大学福岡短期大学入学者選抜関係規程	事務室	1990/04/01	2007/04/01
4915	東海大学福岡短期大学広報・入試委員会規程	事務室	2002/04/01	2007/04/01
▶学生/学生生活・賞罰・学塾				
3330	東海大学福岡短期大学学生生活に関する規則	事務室	1990/04/01	2011/04/01
1830	東海大学福岡短期大学保健管理委員会規程	事務室	1997/04/01	2009/04/01
3392	東海大学福岡短期大学学生の車両通学に関する規則	事務室	1997/09/01	2009/10/01
▶学生/就職				
4929	東海大学福岡短期大学キャリア委員会規程	事務室	2002/04/01	2013/04/01
4926	東海大学福岡短期大学職業紹介業務運営規程	事務室	2003/10/01	
4928	東海大学福岡短期大学職業紹介業務に係る個人情報適正管理規程	事務室	2003/10/01	2007/04/01
▶研究/安全管理(研究・実験等)				
3153	東海大学福岡短期大学「人を対象とする研究」に関する指針	事務室	2012/04/01	
3154	東海大学福岡短期大学「人を対象とする研究」に関する倫理委員会規程	事務室	2012/04/01	
3165	東海大学福岡短期大学研究活動の不正防止対策委員会規程	事務室	2007/04/01	
3166	東海大学福岡短期大学研究活動の不正に関する調査委員会規程	事務室	2007/04/01	
3167	東海大学福岡短期大学研究活動の不正告発相談窓口規程	事務室	2007/04/01	
▶国際/国際交流・海外研修・留学生(派遣・受入等)				
3141	東海大学福岡短期大学学生の留学に関する規程	事務室	1998/04/01	2007/04/01
3143	東海大学福岡短期大学国際交流委員会規程	事務室	2009/04/01	

▶ 図書館/図書館(運営・図書)委員会				
5370	東海大学福岡短期大学図書館規程	事務室	1990/04/01	2012/04/01
▶ 図書館/資料(収集・管理)・帯出・利用				
5400	東海大学福岡短期大学図書館利用規程	事務室	1990/04/01	2012/04/11
5390	東海大学福岡短期大学図書館資料収集・管理規程	事務室	1990/04/01	2012/04/01